

令和7年度岡山県立真庭高等学校 第1回学校運営協議会（議事録）

1. 日 時 令和7年6月3日（火）14:30～16:00

2. 場 所 会議室

3. 概 要

開会

- ・校長挨拶、委員委嘱

- ・出席者自己紹介

学校運営協議会委員12名、事務局11名

- ・学校運営協議会について

校長が、岡山県立学校における学校運営協議会の運営等に関する要綱及び岡山県立真庭高等学校学校運営協議会会則を説明。

- ・会長及び副会長の選出

会 長 杉 徹郎（元真庭市内中学校長）

副会長 片岡孝文（垂水向津矢住民会会長）

協議

- ・「本校の現状課題について」

校長が、今年度の学校経営計画書を説明。本校のミッション、学校内外の環境分析、学校経営ビジョンは昨年度とほぼ変っていない。今年度重点的に取り組むことでは、『真庭は生き方を伝えます。』を掲げ、昨年度も指摘いただいた、人間的な内面を磨いてほしいという課題を組み入れた。人生の先輩として、人としての在り方を伝えていく。指導者として取り組むことでは、授業において生徒の活動を引き出して、生徒の動きを作っていく。授業での時間占有率は、生徒4に対し、教員6である。自己指導能力の育成では、日常の中で言葉遣いや立ち振る舞いをきちんとさせる。校内でも外部でも人間関係を築く力を育成する。失敗から自分の力で人間関係を再構築する力を身に付けさせる。地球的な視野に立ち、持続可能な地域社会をつくる人材の育成では、海外研修やイタリア留学生との交流などを通して、地球的な視点に立ち思考する力を身に付けさせる。オーストラリア研修後は、中学校説明会などで報告する予定である。効果的な情報発信では、ホームページやInstagramの等の更新に力を入れていきたい。昨年度の指摘を踏まえて、動画の配信も準備している。教職員の育成では、今年も「チーム真庭」を徹底して、生徒教職員が一つになってチームとしてやっていく。令和7年度具体的な学校経営目標・計画では、昨年の反省も踏まえ、各分掌一つの目標に絞り焦点化した。令和6年度学校自己評価アンケート結果では、生徒、保護者、教員とも学校に対する満足度は上がってきている。良い方向に学校を展開していけたらと思う。

令和7年度学校経営計画ならびに具体的な学校経営目標・計画等について承認。

グループ協議

- ・「真庭高校に期待すること」3つのグループに分かれて、委員と事務局教員が意見交換。

校長が趣旨説明。外部の方から見て、真庭高校に何を求めているかお聞きしたい。

Aグループ

出席者：(委員) 竹内、杉、浅野秀、浅野晃、(事務局) 藤島、大橋

- ・広報で魅力をどう伝えるか。保護者同士の横のつながりを大切にし、授業参観や学校説明会などを通して、高校の保護者が、中学生小学生の保護者とつながり、コミュニケーションが取れば伝わりやすいのではないかな。

Bグループ

出席者：(委員) 黒田、奥村、道満、平澤、(事務局) 福島、藤田、川嶋

- ・真庭高校のイメージがわからないという意見をいただいた。生徒も挨拶ができるようになり、授業も落ち着いて受けることができている。そういう良いことの、PRが上手くできていないとなかなか伝わらない。北実習地のフェンスに大阪大学との横断幕がかかっているが、あのスペースを活用できないだろうか。

Cグループ

出席者：(委員) 竹崎、片岡、松原、長尾、(事務局) 佐古、中川

- ・真庭高校の魅力で話をした。専門性の高い3科がそろっている。専門性を高めるために、社会人基礎力や人間関係、コミュニケーション能力の育成に力を入れて生徒を育てる。それが、社会に出て大切な力となるので、生きる力につながっていく。その高校の魅力を中学生に伝えていくことが大切である。

まとめ

- ・各グループより、意見交換内容を発表し、全体で共有した。

連絡事項

- ・食農生産科の課題研究でバナメイエビの陸上養殖をしているので、この後時間がある方は見学してもらいたい。
- ・6月14日(土)のワークショップの案内。

閉会

- ・次回につきましては、2学期11月頃を予定している。事務局より今後日程調整をしていく。